経営者 × **教授** × **大学院生**

「三足のわらじ」で博士号を取得

医療機関の経営支援などを手がける税理士法人ブレインパートナー（中村区）の理事長矢野厚登（ひろと）さん（64）＝名古屋商科大大学院教授＝が今秋、京都大大学院で博士（経営科学）の学位を取得した。経営者、教授、大学院生の三つの立場をかけもち、目標を達成した。「何歳になっても、学ぶことで世界が広がっていく」と語り、研究成果を生かして地域医療の経営を支えることに熱意を込める。（大野沙羅）

64歳・税理士法人理事長の矢野さん



矢野さんは、京大法学部を卒業後、銀行や大手監査法人勤務などを経て、1997年に35歳で会計事務所を設立した。これまで東海地区を中心に800以上の診療所などの開業を支え、事業継承や健全経営に携わってきた。

55歳の時。「これまで実践してきた経営管理が、理論的にどう裏付けできるのか検証したい」と考え、京大経営管理大学院へ進学した。平日を含む週2日の通学を1年半続けて修士課程を修了。博士課程に進みつつ、並行して名古屋商科大大学院の教授に就いた。

ところが、事務所の仕事や税理士を目指す大学院生の指導などで、研究を進めることが難しくなり、約3年は休学。その後4年半かけて修了し、今年9月に博士の学位を授与された。

博士論文のテーマは、中小病院における経営管理。税理士法人の顧客など県内の10病院にインタビューし、安定した経営には、総務や人事、経営管理に関わる事務長の存在が鍵を握ると考察した。

病院経営研究 地域医療支えたい

病院経営について「患者さんの人命がかかっているので、一般企業のようにいかない」と難しさを指摘しつつ、「経営が立ちゆかなくなってなくなったら困るのは地域の住民たち。多くの病院にはもっと管理会計の重要性を認識してもらうことが大切だ」と話す。

人を導き、教えながら、自ら学ぶ日々は、時間のやりくりに苦労した。還暦を過ぎての博士号に「会社のスタッフや家族の理解なしではできなかった」と振り返る。今後も「病院や介護施設の安定経営をサポートすることで、地域社会の健康を守ることにつながれば」と熱量は衰えない。

64歳で博士の学位を取った矢野さん＝中村区の税理士法人ブレインパートナーで

市民版



アンモナイト
長谷川光一（緑区）
中部春陽年展

ニュース、情報は下記へ
社会部
231-7333 Fax 201-4331
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

紙面へのご意見は
読者センターへ
221-0800 Fax 221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

購読申し込み
0120-454010

学問守護・厄除招福・交通安全
名古屋天神
上野天満宮
名古屋市千種区赤坂町4－89
電話（七二六）二〇一〇 FAX（七二六）二〇二一
●合格祈願 ●厄祓い
●自動車祓 ●安産祈願
●初宮詣り ●七五三詣
●地鎮祭 ●建工祭
各種ご祈祷 ●出張祭
年中受付